

学生の確保の見通し等を記載した書類 児童教育学部

【資料目次】

- 資料① 大学（学部）・短期大学（本科）への学部・学科系統別進学者数【全日制】…p. 2
- 資料② 令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向（教育学）…p. 2
- 資料③ 令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向（大規模大学）…p. 3
- 資料④ 18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2019…p. 3
- 資料⑤ 18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2019 南関東版
…p. 4
- 資料⑥ 18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2019 南関東版
（神奈川県）…p. 4
- 資料⑦ 通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査…p. 5
- 資料⑧ 誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～多様な子供たちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現～ 中間まとめ 【素案】…p. 5
- 資料⑨ 小学校教員採用試験倍率（試験実施年度）…p. 5
- 資料⑩ 令和元年版 少子化社会対策白書…p. 6
- 資料⑪ かながわ子どもみらいプラン（令和2年度から令和6年度）…p. 6
- 資料⑫ 東海大学 児童教育学部に関するアンケート…p. 7
- 資料⑬ 東海大学 児童教育学部に関するアンケート（Q3）【私立幼稚園・保育園・こども園】…p. 8
- 資料⑭ 東海大学 児童教育学部に関するアンケート（Q7）【私立幼稚園・保育園・こども園】…p. 8
- 資料⑮ 放課後児童クラブの概要…p. 9
- 資料⑯ 東海大学 児童教育学部に関するアンケート（Q3）【児童福祉施設】…p. 9
- 資料⑰ 東海大学 児童教育学部に関するアンケート（Q7）【児童福祉施設】…p. 10
- 資料⑱ 大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業者の就職状況調査…p. 10
- 資料⑲ 令和元年度 東海大学就職決定状況…p. 11
- 資料⑳ 東海大学 新学部設置に関するアンケート—湘南キャンパス：児童教育学部—【高校生】調査報告書…p. 12

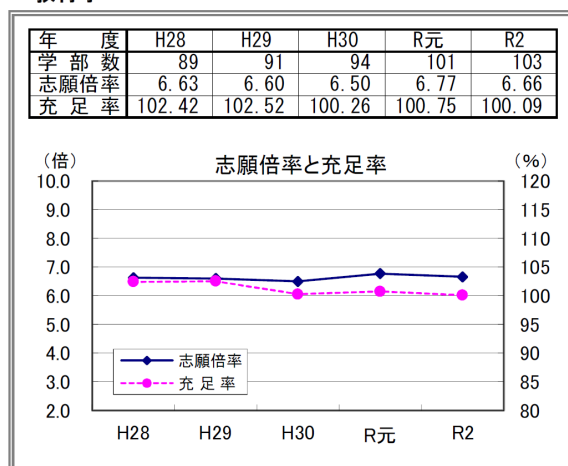
【資料①】

大学（学部）・短期大学（本科）への学部・学科系 統別進学者数【全日制】		
	進学者総数	教育系
令和元年度	21,643	1,271
平成30年度	21,459	1,243
平成29年度	21,680	1,283
平成28年度	21,196	1,309
平成27年度	21,505	1,258
平成26年度	21,258	1,311
平成25年度	19,988	1,226
平成24年度	20,318	1,198
平成23年度	19,343	1,081
平成22年度	18,736	959

令和元年度 公立高等学校等卒業者の進路の状況（令和2年5月1日現在） 神奈川県教育委員会 作成
 「第8表 大学（学部）・短期大学（本科）への学部・学科系統別進学者数（全日制）」20ページより抜粋

【資料②】

教育学



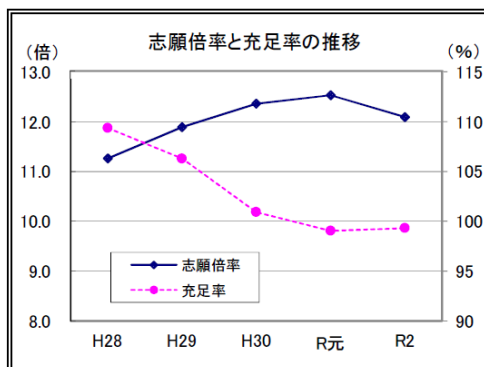
「令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」

（日本私立学校振興・共済事業団）令和2年10月）27ページより抜粋

【資料③】

大規模大学（収容定員8000人以上）

年度	H28	H29	H30	R元	R2
学校数(校)	40	41	43	43	44
入学定員(人)	175,529	182,768	190,762	191,533	194,624
志願者(人)	1,977,235	2,172,503	2,357,251	2,400,696	2,353,524
受験者(人)	1,889,318	2,077,550	2,256,484	2,288,787	2,229,429
合格者(人)	568,120	556,804	531,983	545,359	614,380
入学者(人)	191,961	194,268	192,514	189,693	193,290
志願倍率(倍)	11.26	11.89	12.36	12.53	12.09
合格率(%)	30.07	26.80	23.58	23.83	27.56
歩留率(%)	33.79	34.89	36.19	34.78	31.46
充足率(%)	109.36	106.29	100.92	99.04	99.31



「令和2（2020）年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向」

（日本私立学校振興・共済事業団）令和2年10月）37ページより抜粋。

【資料④】

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
全体 計	人数	1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,105	1,061,961	1,089,005	1,093,565	1,085,011	1,068,978	1,066,720	1,048,177	1,033,386
	指数	100.0	99.4	97.1	95.4	93.4	90.4	92.7	93.1	92.4	91.0	90.8	89.7	88.0
北海道	人数	45,486	45,674	45,007	44,040	42,523	41,012	41,895	41,267	41,020	40,142	40,060	39,281	38,308
	指数	100.0	100.4	98.9	96.8	93.5	90.2	92.1	90.7	90.2	88.3	88.1	86.4	84.2
東北	人数	84,393	83,524	80,269	77,972	75,349	71,821	73,138	72,325	71,068	69,057	68,536	66,576	65,275
	指数	100.0	99.0	95.1	92.4	89.3	85.1	86.7	85.7	84.2	81.8	81.2	78.9	77.3
北関東	人数	66,461	66,380	64,677	62,983	61,871	59,658	60,616	60,034	59,354	58,511	56,960	55,587	54,729
	指数	100.0	99.9	97.3	94.8	93.1	89.8	91.2	90.3	89.3	88.0	85.7	83.6	82.3
南関東	人数	306,595	305,457	301,999	297,558	294,255	286,211	295,534	298,184	296,729	294,940	294,233	288,747	288,888
	指数	100.0	99.6	98.5	97.1	96.0	93.4	96.4	97.3	96.8	96.2	96.0	94.2	94.2
甲信越	人数	49,910	49,897	47,817	46,248	45,570	44,050	44,808	44,350	43,662	42,230	42,354	41,353	40,149
	指数	100.0	100.0	95.8	92.7	91.3	88.3	89.8	88.9	87.5	84.6	84.9	82.9	80.4
北陸	人数	29,024	29,004	27,814	27,545	26,691	25,993	26,232	26,363	25,852	25,208	24,451	24,513	23,789
	指数	100.0	99.9	95.8	94.9	92.0	89.6	90.4	90.8	89.1	86.9	84.2	84.5	82.0
東海	人数	147,041	145,478	143,651	140,422	138,255	133,282	136,990	137,732	136,346	134,321	134,406	132,217	129,707
	指数	100.0	98.9	97.7	95.5	94.0	90.6	93.2	93.7	92.7	91.3	91.4	89.9	88.2
近畿	人数	197,547	195,001	190,286	185,178	181,531	175,417	179,067	179,636	178,463	174,576	174,133	171,669	168,568
	指数	100.0	98.7	96.3	93.7	91.9	88.8	90.6	90.9	90.3	88.4	88.1	86.9	85.3
中国	人数	69,850	70,369	68,393	67,085	65,509	63,807	64,458	65,221	64,678	64,235	64,134	63,413	62,109
	指数	100.0	100.7	97.9	96.0	93.8	91.3	92.3	93.4	92.6	92.0	91.8	90.8	88.9
四国	人数	36,321	35,553	34,558	33,179	32,856	31,470	32,221	31,968	31,889	31,251	31,063	30,819	30,046
	指数	100.0	97.9	95.1	91.3	90.5	86.6	88.7	88.0	87.8	86.0	85.5	84.9	82.7
九州沖縄	人数	141,978	141,031	138,139	135,469	132,922	129,758	133,665	136,378	136,374	134,696	136,318	134,303	132,005
	指数	100.0	99.3	97.3	95.4	93.6	91.4	94.1	96.1	96.1	94.9	96.0	94.6	93.0

「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2019」（リクルート進学総研）

2019年11月号 6ページより抜粋

【資料⑤】

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
南関東	人数	306,595	305,457	301,999	297,558	294,255	286,211	295,534	298,184	296,729	294,940	294,233	288,747	288,888
	指数	100.0	99.6	98.5	97.1	96.0	93.4	96.4	97.3	96.8	96.2	96.0	94.2	94.2
埼玉	人数	65,474	65,634	64,508	63,542	62,506	61,057	62,713	63,425	62,667	62,277	61,649	59,841	59,571
	指数	100.0	100.2	98.5	97.0	95.5	93.3	95.8	96.9	95.7	95.1	94.2	91.4	91.0
千葉	人数	55,425	55,220	54,908	53,904	53,397	51,284	52,732	53,925	53,626	52,472	52,028	51,112	50,116
	指数	100.0	99.6	99.1	97.3	96.3	92.5	95.1	97.3	96.8	94.7	93.9	92.2	90.4
東京	人数	105,727	105,200	104,150	102,823	102,239	99,823	104,047	102,181	102,694	103,338	103,713	102,864	104,199
	指数	100.0	99.5	98.5	97.3	96.7	94.4	98.4	96.6	97.1	97.7	98.1	97.3	98.6
神奈川	人数	79,969	79,403	78,433	77,289	76,113	74,047	76,042	78,653	77,742	76,853	76,843	74,930	75,002
	指数	100.0	99.3	98.1	96.6	95.2	92.6	95.1	98.4	97.2	96.1	96.1	93.7	93.8
全国	人数	1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,105	1,061,961	1,089,005	1,093,565	1,085,011	1,068,978	1,066,720	1,048,177	1,033,386
	指数	100.0	99.4	97.1	95.4	93.4	90.4	92.7	93.1	92.4	91.0	90.8	89.2	88.0

「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向 2019 南関東版」(リクルート進学総研)
2020年1月号 2ページより抜粋

【資料⑥】

神奈川県



卒業者数

2009年59,315人→2018年66,887人(7,572人増加)

進学者数

大学 : 2009年32,701人→2018年38,257人(5,556人増加)

短期大学 : 2009年 3,547人→2018年 2,583人(964人減少)

専門学校 : 2009年 7,941人→2018年10,593人(2,652人増加)

進学率

大学 : 2009年55.1%→2018年57.2%(2.1ポイント上昇)

短期大学 : 2009年 6.0%→2018年 3.9%(2.1ポイント低下)

専門学校 : 2009年13.4%→2018年15.8%(2.4ポイント上昇)

残留率

大学 : 2010年44.7%→2019年39.0%(5.7ポイント低下)

短期大学 : 2010年64.7%→2019年73.6%(8.9ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位東京(10,288人)、2位千葉(2,090人)、3位静岡(2,010人)

短期大学 : 1位東京(286人)、2位静岡(165人)、3位長野(34人)

入学者流出先

大学 : 1位東京(22,793人)、2位千葉(1,011人)、3位埼玉(870人)

短期大学 : 1位東京(553人)、2位北海道(39人)、3位静岡(29人)

- ①学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地、専門学校 = 専修学校専門課程
- ②卒業者数 : 高等学校卒業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ③進学率 : 進学者数(大学・短期大学・専修学校専門課程(専門学校))÷高等学校卒業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ④残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合(浪人含)
- ⑤流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外の高校出身者の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ⑥流出 : 自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪)

「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向 2019 南関東版」(リクルート進学総研)
2020年1月号 15ページより抜粋

【資料⑦】

知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の困難を示すとされた児童生徒の割合

	推定値 (95%信頼区間)
学習面又は行動面で著しい困難を示す	6.5% (6.2%~6.8%)
学習面で著しい困難を示す	4.5% (4.2%~4.7%)
行動面で著しい困難を示す	3.6% (3.4%~3.9%)
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	1.6% (1.5%~1.7%)

※ 「学習面で著しい困難を示す」とは、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」の一つあるいは複数で著しい困難を示す場合を指し、一方、「行動面で著しい困難を示す」とは、「不注意」、「多動性－衝動性」、あるいは「対人関係やこだわり等」について一つか複数で問題を著しく示す場合を指す。

「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」

(平成24年12月5日 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課) 3ページより抜粋。

【資料⑧】

- さらに、公立学校教員採用選考試験における採用倍率の低下傾向も続いている。特に、小学校では、平成12(2000)年度採用選考においては12.5倍だった採用倍率が令和元(2019)年度には2.8倍となっており、一部の教育委員会では採用倍率が1倍台となっている²⁰。採用倍率の低下傾向は、定年退職者数や特別支援学級・通級による指導を受ける児童生徒の増加等に伴う採用者数の増加や民間企業の採用状況等の様々な要因が複合的に関連していると考えられる。

「誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～多様な子供たちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現～ 中間まとめ【素案】」(令和2年9月11日開催「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会(第13回)」)より抜粋。

小学校教員採用試験倍率 (試験実施年度)

【資料⑨】

小学校	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
神奈川県	3.3	3.5	3.6	3.4	3.3
横浜市	3.4	3.6	2.7	2.7	1.9
川崎市	3.3	2.6	2.6	3.1	2.6
相模原市	3.2	2.9	3.7	5.7	2.6
東京都	3.3	3.0	2.7	1.8	-
千葉県・市	2.8	2.7	2.8	2.5	-

「公立学校教員採用選考試験の実施状況」(文部科学省)より転記

【資料⑩】

都道府県	待機児童数	待機児童率
	人	%
北海道	129	0.16
青森県	0	0.00
岩手県	145	0.48
宮城県	613	1.43
秋田県	37	0.16
山形県	46	0.18
福島県	371	1.15
茨城県	386	0.68
栃木県	41	0.10
群馬県	28	0.06
埼玉県	1,552	1.23
千葉県	1,392	1.27
東京都	5,414	1.84
神奈川県	864	0.54
新潟県	1	0.00
富山県	0	0.00
石川県	0	0.00
福井県	18	0.07
山梨県	0	0.00
長野県	50	0.10
岐阜県	0	0.00
静岡県	325	0.49

令和元年版 少子化社会対策白書

(第2部 少子化対策の具体的実施状況 第1章 重点課題 79ページ 第2-1-5図)より抜粋。

【資料⑪】

神奈川県 幼児期の教育・保育に従事する人材の必要見込み数【各年度4月1日時点】(単位:人)

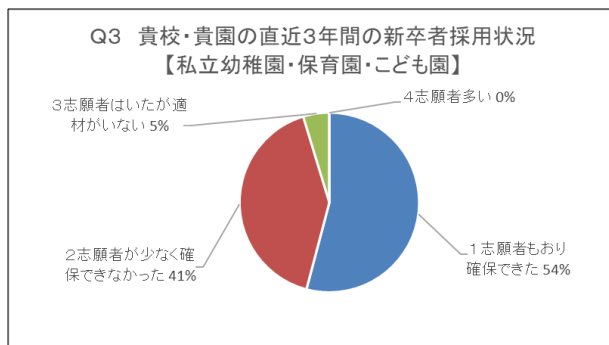
職種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
幼稚園教諭	8,061	7,726	7,354	7,047	6,788
保育士	37,239	38,531	39,607	40,644	41,666
保育教諭	2,955	3,126	3,353	3,425	3,498
保育従事者(※1)	68	76	82	92	101
小計	48,323	49,459	50,396	51,208	52,053

(※1) 小規模保育事業(B)及び事業所内保育事業(小規模B型基準)における保育従事者
「かながわ子どもみらいプラン(令和2年度から令和6年度)」(令和2年3月 神奈川県 101ページ)より抜粋。

【資料⑬】

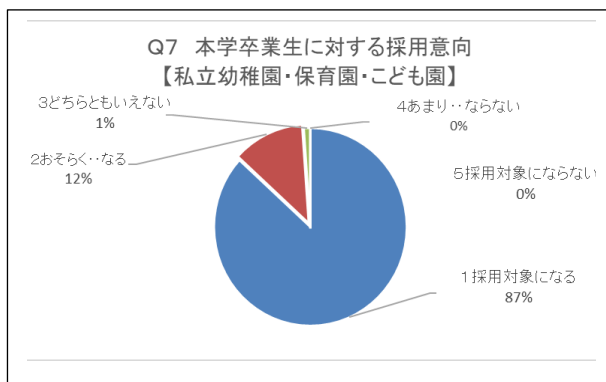
Q3 貴校・貴園の直近3年間の新卒者採用状況を次の中からお選びください。

- 1 志願者もあり、必要な人材を確保できた。 46園 (54%)
- 2 志望者が少なく、必要数の人材確保ができなかった。 35園 (41%)
- 3 志願者はいたが、適切な人材がいなかった。 4園 (5%)
- 4 志願者が多く、選考に苦慮した。 0園 (0%)



【資料⑭】

- 1 採用対象になる。 79園 (87%)
- 2 おそらく採用対象になる。 11園 (12%)
- 3 どちらともいえない。 1園 (1%)
- 4 あまり採用対象にならない。 0園 (0%)
- 5 採用対象にならない。 0園 (0%)



【資料⑮】

放課後児童クラブの概要

【事業の内容、目的】

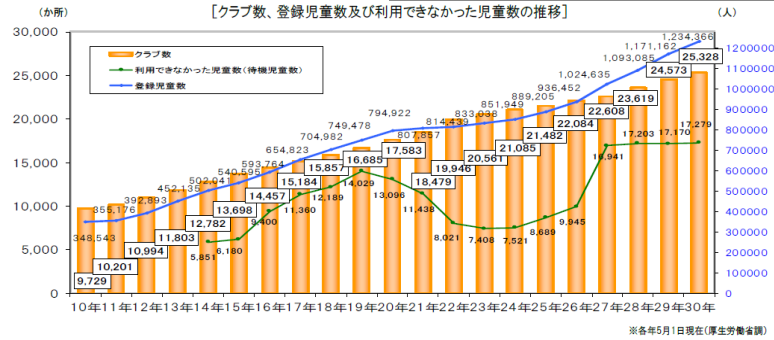
共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校の余裕教室や児童館、公民館などで、放課後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。
 (平成9年の児童福祉法改正により法定化(児童福祉法第6条の3第2項):平成10年4月施行)
 ※平成24年の児童福祉法改正により、対象年齢を「おおむね10歳未満」から「小学校に就学している」児童とした(平成27年4月施行)

【現状】(平成30年5月現在)

- クラブ数 25, 328か所
(参考:全国の小学校19,428校)
- 支援の単位数 31, 643単位(平成27年より調査)
- 登録児童数 1, 234, 366人
- 利用できなかった児童数(待機児童数) 17, 279人

【今後の展開】

○「新・放課後子ども総合プラン」(平成30年9月14日策定)を踏まえ、放課後児童クラブについて、2021年度末までに約29万人分を整備し、待機児童解消を目指し、その後も女性就業率の上昇を踏まえ2023年度末までに計約30万人分の受け皿整備を図る。また、子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図る。

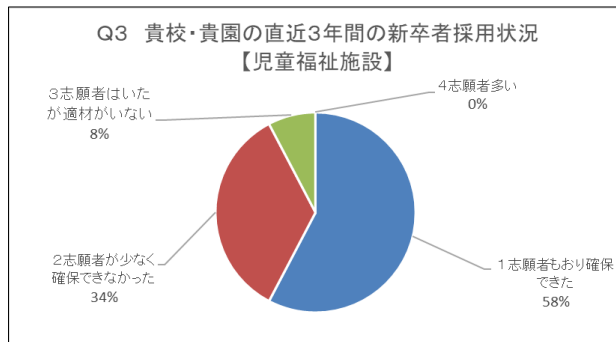


令和元年10月15日開催 「第4次少子化社会対策大綱策定のための検討会(第5回)」配布資料

「子育て支援施策について」8ページより抜粋

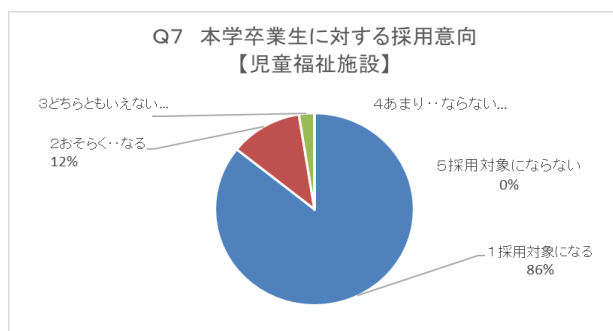
【資料⑯】

- 1 志願者もおり、必要な人材を確保できた。 15 施設 (58%)
- 2 志望者が少なく、必要数の人材確保ができなかった。 9 施設 (34%)
- 3 志願者はいたが、適切な人材がいなかった。 2 施設 (8%)
- 4 志願者が多く、選考に苦慮した。 0 施設 (0%)

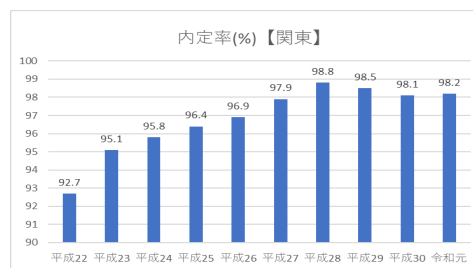
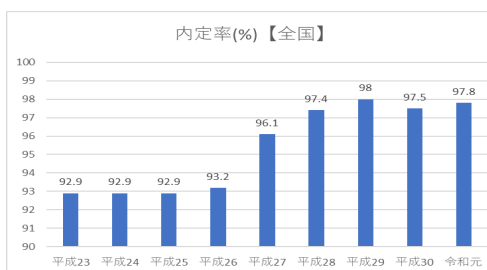


【資料⑰】

- 1 採用対象になる。 23 施設 (%)
- 2 おそらく採用対象になる。 3 施設 (%)
- 3 どちらともいえない。 2 施設 (%)
- 4 あまり採用対象にならない。 0 施設 (%)
- 5 採用対象にならない。 0 施設 (%)



【資料⑱】



「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業者の就職状況調査」

(令和2年12月1日現在 文部科学省・厚生労働省調査)より抜粋

卒業生数・就職状況

2019年度卒業 学部生就職決定状況

学部	卒業生	大学院進学者	就職者
文学部	939	16	720
政治経済学部	433	8	346
法学部	252	2	175
教養学部	347	10	252
体育学部	457	12	352
薬学部	295	37	212
情報理工学部	185	17	152
工学部	1357	221	994
観光学部	214	0	195
情報通信学部	293	27	236
海洋学部	478	15	402
医学部	103	0	-
健康科学部	151	2	136
経営学部	180	0	158
基礎工学部	75	2	61
農学部	204	14	172
国際文化学部	182	0	162
生物学部	136	7	116
全校合計	6281	390	4841

※ 就職希望者の内、就職率97.8%（2020年3月卒業生）

※ 卒業生数＝学位取得者数

令和元年度 東海大学就職決定状況（HPより抜粋）<https://www.u-tokai.ac.jp/career/data/data/>

東海大学 御中



東海大学
新学部設置に関するアンケート
－湘南キャンパス：児童教育学部－

【高校生】
調査結果報告書

2021年2月



株式会社リクルートマーケティングパートナーズ



目次

調査概要	3
▶ 回答者プロフィール	5
✓ 高校設置者／高校所在エリア	6
✓ 性別／所属クラス	7
✓ 高校卒業後の希望進路（すべて）	8
✓ 高校卒業後の希望進路（第1希望）	9
✓ 進学先として興味がある分野	10
✓ 進学先検討時の重視項目（すべて）	12
✓ 進学先検討時の重視項目（もっとも）	14
▶ 新学部に対する評価	17
✓ 興味度	18
✓ 受験意向	19
✓ 入学意向	20
✓ 入学したいと思う理由（抜粋）	21
✓ 学部特徴の魅力度	22
—資料—	
調査票・提示資料	25
調査票	
提示資料	



回答者プロフィール

高校設置者／高校所在エリア

■ 高校設置者（全体／対象リストより）

(%)

			公立	私立
【高校生】全体 (n=7,835)			58.7	41.3
性別	男子 (n=3,750)		55.9	44.1
	女子 (n=3,902)		60.9	39.1
高校所在 エリア別	湘南地域 (n=2,804)		60.8	39.2
	横浜地域 (n=458)		25.5	74.5
	川崎地域 (n=630)		100.0	—
	県央地域 (n=3,210)		66.8	33.2
	県西地域 (n=733)		—	100.0

※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

高校生_設置者

■ 高校所在エリア（全体／高校住所より分類）

(%)

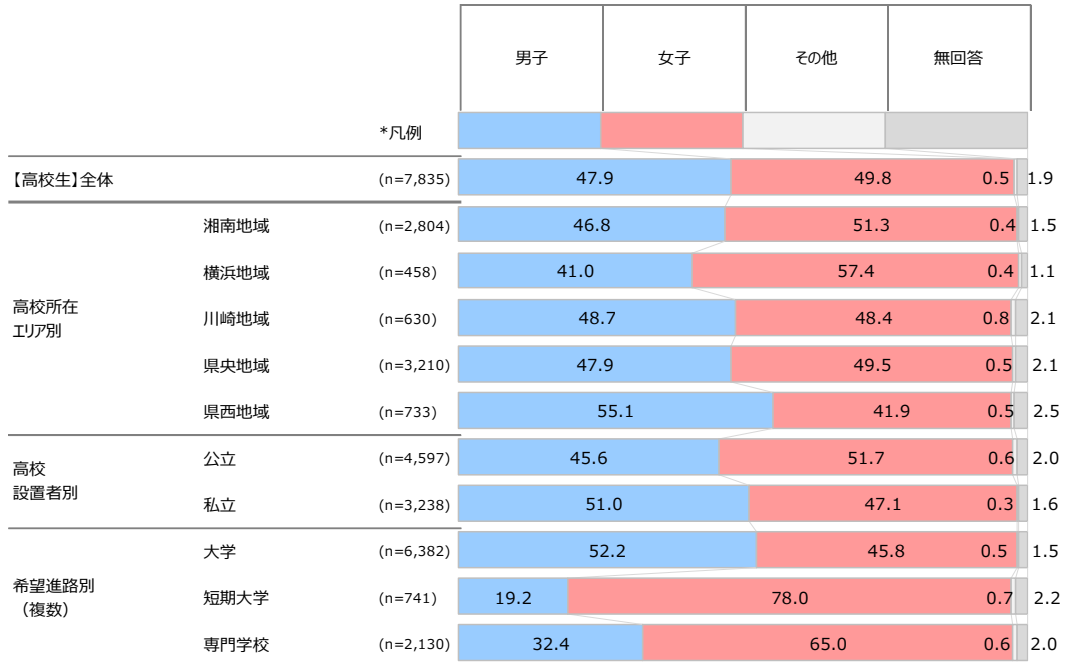
			湘南地域	横浜地域	川崎地域	県央地域	県西地域
*凡例			■	■	■	■	■
【高校生】全体 (n=7,835)			35.8	5.8	8.0	41.0	9.4
性別	男子 (n=3,750)		35.0	5.0	8.2	41.0	10.8
	女子 (n=3,902)		36.9	6.7	7.8	40.7	7.9
高校 設置者別	公立 (n=4,597)		37.1	2.5	13.7	46.7	—
	私立 (n=3,238)		33.9	10.5	—	32.9	22.6

※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

高校生_高校所在エリア

■性別（全体／単一回答）

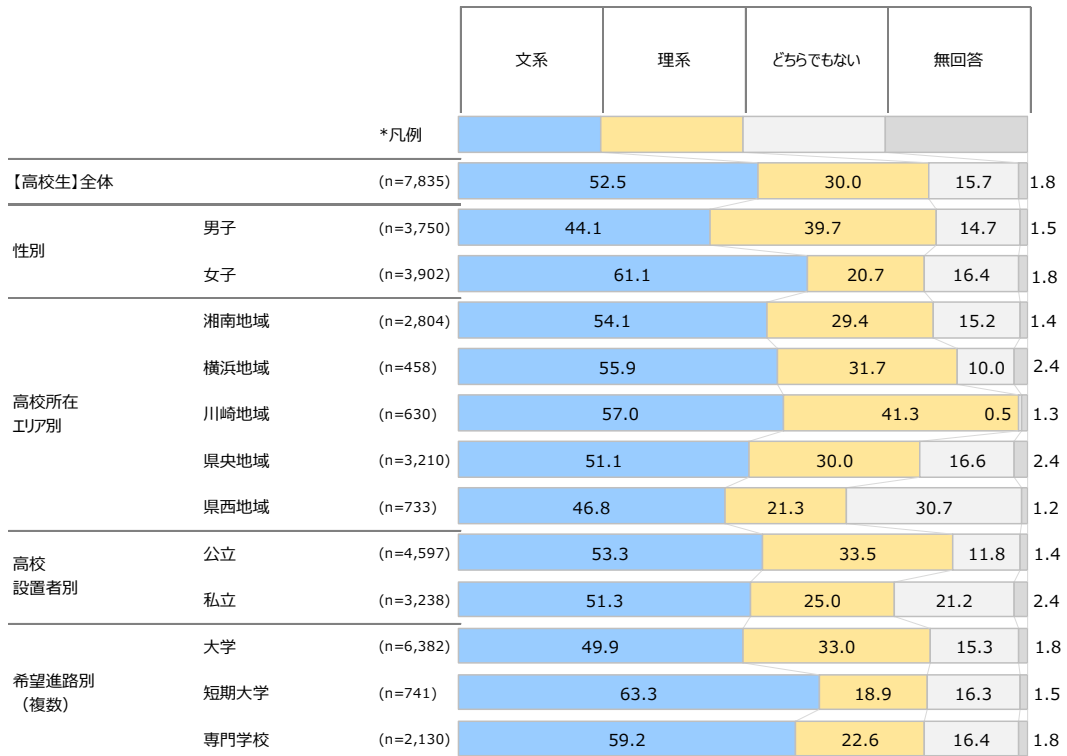
(%)



高校生_F1

■所属クラス（全体／単一回答）

(%)



高校生_F2

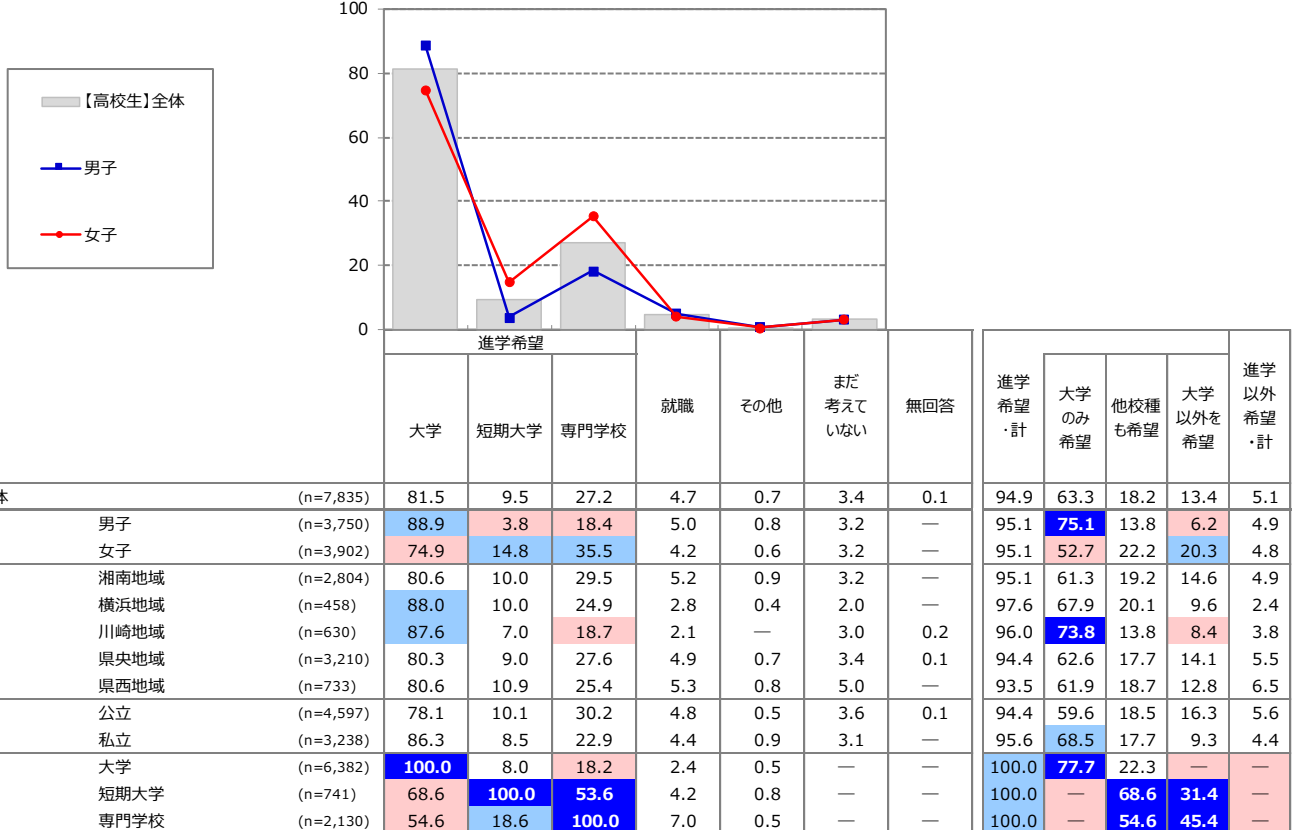
高校卒業後の希望進路（すべて）

- ▶ 全体の95%が、高校卒業後は「進学希望」。
- ▶ 希望する進学先は、「大学」が82%と最も高く、大きく離れて「専門学校」(27%)が続く。
- ▶ 性別にみると、男子は女子よりも「大学」希望が高く、「大学のみ」希望の割合も75%と女子を20ポイント以上上回る。女子は男子に比べ、「専門学校」や「短期大学」希望の割合が高い。
- ▶ 高校所在別にみると、いずれの地域においても「大学」希望の割合は8割を超える。
- ▶ 高校設置者別にみると、「大学」希望の割合は公立78%、私立86%とやや私立の方が高め。

■高校卒業後の希望進路（全体／複数回答）

あなたは高校を卒業した後、どの進路に進みたいと思っていますか。以下、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(%)



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ▨=5ポイント以上高い / ▩=5ポイント以上低い

高校生_Q1

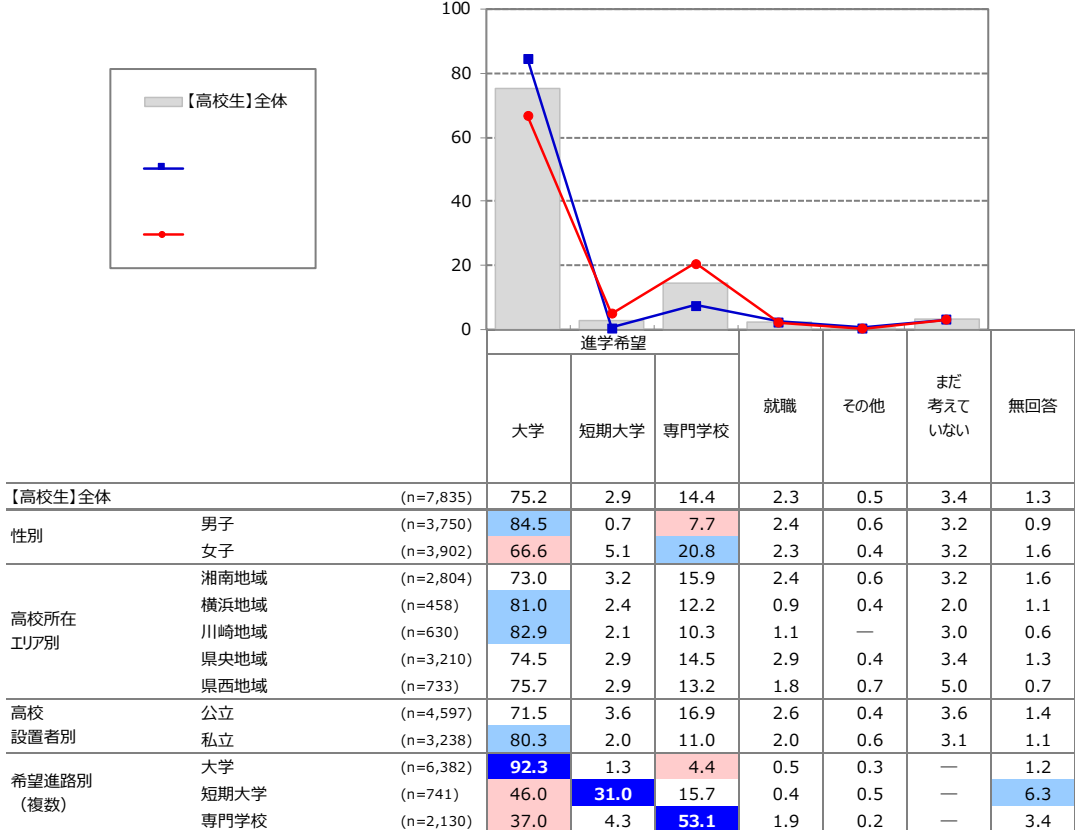
高校卒業後の希望進路（第1希望）

- ▶ 全体の75%が「大学」進学を第一希望。
- ▶ ついで「専門学校」（14%）
- ▶ 性別にみると、男女とも第一志望として最も高いのは「大学」。
 ✓ 男子は、①大学（85%）、②就職（8%）と、ほぼ大学に集中。
 ✓ 女子は、①大学（67%）、②専門学校（21%）
- ▶ 高校所在別にみると、「大学」第一希望の割合が8割を超えるのは横浜地域、川崎地域。
- ▶ 高校設置者別にみると、「大学」第一希望の割合は公立72%、私立80%と私立の方が高め。
- ▶ 希望進路別（複数）にみると、大学を希望していた層では92%が「大学」を第一希望として挙げている。

■ 高校卒業後の希望進路（全体／単一回答）

(%)

最も希望する進路の番号を1つ選び、右下の回答欄に番号を記入してください。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以下低い

高校生_Q1SQ1

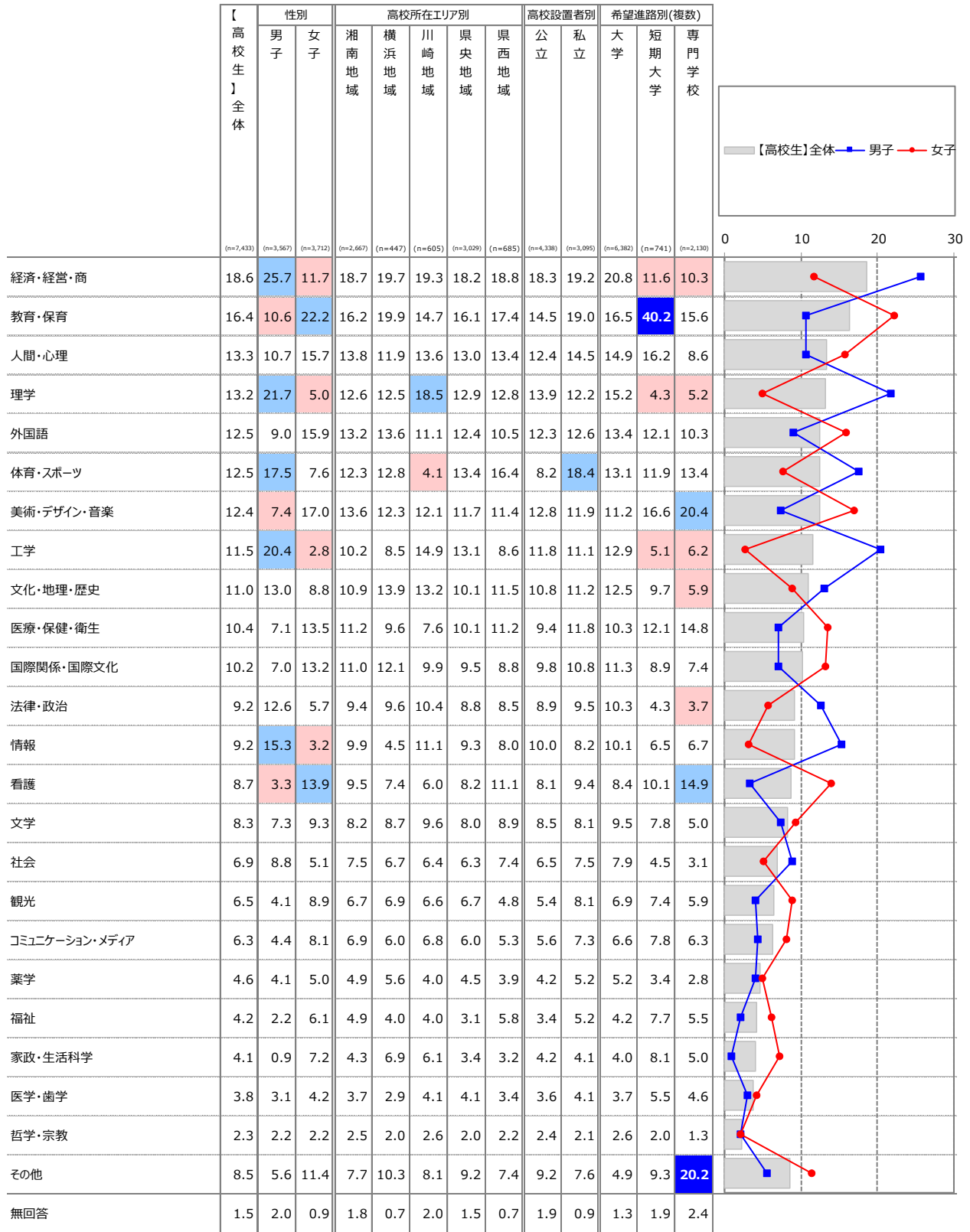
進学先として興味がある分野

- ▶ 進学希望者の興味分野として最も高かったのは、「経済・経営・商」(18%)。以下、②「教育・保育」(16%)、③「人間・心理」「理学」「外国語」「体育・スポーツ」(13%)とつづく。
- ▶ 男子は、「経済・経営・商」が最多(26%)。
✓次いで②「理学」(22%)、③「工学」(20%)、④「体育・スポーツ」(18%)、⑤「情報」(15%)
- ▶ 女子は、「教育・保育」が最多(22%)。
✓次いで②「美術・デザイン・音楽」(17%)、③「外国語」「人間・心理」(16%)、⑤「看護」「医療・保健・衛生」(14%)、
- ▶ 希望進路別にみると、短期大学進学希望者では、「教育・保育」を挙げる割合が40%と、大学や専門学校希望者に比べ高い。
✓大学希望者は、ほぼ全体傾向同様。

■ 希望進路分野（進学希望者／複数回答）

(%)

あなたは、進学先で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

※「全体」降順ソート

高校生_Q2

進学先検討時の重視項目（すべて）

- ▶ 進学希望者が進学先を選ぶ際に重視するのは、「学びたい学部・学科・コースがあること」が最多（75%）。
 - ✓性別、高校所在エリア別、高校設置者、希望進路別、いずれの層をみても、トップは同様。

- ▶ 以下、大きく離れて
 - ②「校風や雰囲気が良いこと」(50%)
 - ③「自分の興味や可能性が広げられること」(41%)
 - ④「就職に有利であること」(40%)
 - ⑤「学生生活が楽しめること」(42%)

- ▶ 男女別にみると、男子よりも女子のほうが重視度が高い項目が上位に目立つ。
 - ✓全体値4位の「資格取得に有利」は、男子31%、女子49%と特に男女差が大きい項目。
 - ✓反対に反対に、全体値30%以上の項目においてほぼ男女同率なのは「将来の選択肢が増える」「社会で役立つ力が身に付く」など。

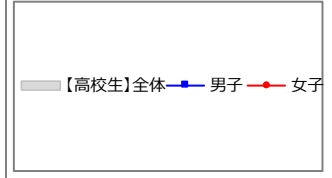
- ▶ 希望進路別にみると、大学希望者に比べ、（女子が多くを占める）短期大学希望者では全般的に重視度が高い項目が多くなる。
 - ✓大学希望者は上位6項目までは全体値と同様。以降、若干順位の入れ替えはあるが同傾向。

■進学先検討時の重視項目（進学希望者／複数回答）

(%)

あなたが進学先を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。以下、あてはまる項目すべてに○をつけてください。

【高校生】全体	性別		高校所在エリア別					高校設置者別		希望進路別(複数)			
	男子	女子	湘南地域	横浜地域	川崎地域	県央地域	県西地域	公立	私立	大学	短期大学	専門学校	
	(n=3,567)	(n=3,712)	(n=2,667)	(n=447)	(n=605)	(n=3,029)	(n=685)	(n=4,338)	(n=3,095)	(n=6,382)	(n=741)	(n=2,130)	
学びたい学部・学科・コースがあること	75.2	68.0	82.7	78.1	77.9	74.4	73.2	71.4	76.0	74.0	75.7	80.0	74.7
校風や雰囲気が良いこと	49.6	40.9	58.2	53.3	54.4	47.3	47.0	45.5	50.6	48.2	49.2	58.6	53.7
自分の興味や可能性が上げられること	48.2	44.7	51.3	51.4	54.1	41.7	47.4	40.6	46.7	50.1	48.2	50.1	50.2
就職に有利であること	48.2	45.4	50.8	50.1	47.4	47.9	47.8	42.6	49.3	46.6	47.9	52.2	51.2
学生生活が楽しめること	47.7	39.7	55.6	52.2	47.7	39.7	45.7	46.1	46.5	49.3	47.8	57.2	51.0
自宅から通えること	45.3	40.0	50.5	44.7	51.2	43.0	45.3	46.1	46.9	43.1	44.7	56.7	49.2
資格取得に有利であること	40.3	31.3	49.1	42.1	44.7	36.0	39.4	38.4	40.4	40.3	38.9	54.4	49.4
卒業後に社会で活躍できること	39.9	36.2	43.4	42.9	41.4	34.0	38.8	36.8	38.2	42.3	39.5	43.3	42.5
将来の選択肢が増えること	36.9	36.7	37.1	38.3	37.4	32.4	36.9	35.3	35.4	39.0	38.6	39.5	34.1
学習設備や環境が整っていること	36.0	30.8	41.0	39.0	36.2	34.9	34.6	31.5	36.3	35.7	35.9	39.9	38.3
交通の便が良いこと	36.0	30.8	40.9	38.3	42.7	34.7	33.8	33.7	38.4	32.8	36.0	49.0	40.4
キャンパスがきれいであること	35.1	29.4	40.5	38.8	42.5	31.1	32.6	30.7	34.8	35.5	36.0	39.7	35.7
社会で役立つ力が身につくこと	34.8	35.1	34.3	36.3	39.4	31.9	34.3	31.1	33.7	36.4	35.3	37.4	34.8
偏差値が自分に合っていること	34.1	31.0	37.3	36.7	33.1	32.1	33.0	30.7	37.3	29.5	35.8	40.9	30.8
勉強するのに良い環境であること	31.5	28.9	34.1	35.7	35.8	29.9	28.0	29.2	29.7	34.0	32.4	34.8	30.3
学費が高くないこと	29.0	25.4	32.4	33.5	27.7	24.1	26.3	28.6	30.8	26.6	28.5	40.8	35.5
活気がある感じがすること	26.1	23.1	29.0	29.0	28.6	20.5	25.5	20.6	25.2	27.3	26.3	28.6	27.2
教育方針・カリキュラムが魅力的であること	25.9	21.8	29.9	28.2	30.2	25.6	25.0	18.5	26.7	24.8	25.9	27.0	28.1
専門分野を深く学べること	23.6	17.0	29.7	26.2	25.7	18.8	22.2	23.2	23.7	23.5	19.3	30.8	44.4
周囲の人からの評判が良いこと	22.4	17.8	26.7	24.3	25.5	20.5	21.7	17.5	22.6	22.0	22.5	25.1	23.4
入試方法が自分に合っていること	18.7	15.8	21.4	20.8	20.6	16.4	17.5	16.8	20.4	16.3	18.9	23.9	20.4
学生の面倒見が良いこと	17.4	15.1	19.7	19.8	18.8	12.9	15.5	19.3	16.0	19.4	17.3	21.2	20.6
伝統や実績があること	17.0	17.6	16.3	18.8	18.3	17.5	15.7	13.9	16.6	17.5	17.1	13.5	16.4
教育内容のレベルが高いこと	16.1	16.8	15.4	18.6	18.1	20.2	13.7	12.3	15.7	16.7	16.9	10.5	12.1
クラブ・サークル活動が盛んであること	14.9	16.6	13.4	17.1	16.1	11.1	13.6	14.9	12.8	17.9	16.2	13.1	11.7
教授・講師陣が魅力的であること	13.9	12.0	15.7	16.4	16.1	10.4	12.8	10.4	13.2	14.9	14.3	13.1	14.3
教養が身につくこと	12.5	11.1	13.8	14.9	15.0	8.6	11.8	7.9	11.4	14.0	13.0	13.1	11.3
国際的なセンスが身につくこと	11.9	9.7	13.8	13.8	13.6	7.6	11.3	9.3	11.2	12.8	12.4	10.3	10.7
寮や奨学金などが充実していること	11.7	10.0	13.1	14.2	12.3	5.6	10.5	12.6	11.7	11.7	11.7	14.4	14.2
先輩・卒業生が魅力的であること	8.2	6.3	9.9	9.7	12.3	4.5	7.2	7.2	7.3	9.3	7.9	9.3	10.5
学生の学力が高いこと	7.4	9.8	4.9	9.2	8.3	9.8	5.6	5.8	7.1	7.9	8.4	2.6	2.3
学校が発展していく可能性があること	6.5	7.1	5.7	7.9	5.4	4.6	5.9	6.0	5.7	7.5	6.7	6.5	6.4
無回答	0.6	0.9	0.3	0.6	0.4	0.2	0.7	1.0	0.6	0.7	0.6	0.3	0.8



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い
 ※「全体」降順ソート

進学先検討時の重視項目（もっとも）

- ▶ トップは、複数回答時と同様に「学びたい学部・学科・コースがあること」（27%）
- ▶ 2位以下の順位は入れ替わりが見られる。
 - ② 「就職に有利であること」（10%） （複数回答では同率3位）
 - ③ 「自分の興味や可能性が上げられること」（8%） （複数回答では同率3位）
 - ④ 「学生生活が楽しめること」（6%） （複数回答では5位）
 - 「資格取得に有利であること」（6%） （複数回答では7位）

✓ 複数回答時に2位の「校風や雰囲気が良いこと」は、7位にダウン。

■進学先検討時の重視項目：最も重視（進学希望者／単一回答）

(%)

最も重視しているものを1つ選び、右下の回答欄に番号を記入してください。

【高校生】全体	性別		高校所在エリア別					高校設置者別		希望進路別(複数)			重視項目検討回数	
	男子	女子	湘南地域	横浜地域	川崎地域	県央地域	県西地域	公立	私立	大学	短期大学	専門学校		
	(n=7,433)	(n=3,567)	(n=3,712)	(n=2,667)	(n=447)	(n=605)	(n=3,029)	(n=685)	(n=4,338)	(n=3,095)	(n=6,382)	(n=741)	(n=2,130)	(n=7,433)
学びたい学部・学科・コースがあること	27.4	24.2	30.7	26.7	28.9	30.7	27.5	26.0	27.9	26.8	28.5	28.2	23.5	75.2
就職に有利であること	10.2	11.7	8.8	9.5	8.3	11.6	11.1	8.8	10.8	9.2	10.0	8.8	9.6	48.2
自分の興味や可能性が上げられること	7.8	8.4	7.2	7.8	7.6	6.4	8.4	6.4	7.3	8.5	7.9	7.2	8.0	48.2
学生生活が楽しめること	6.1	5.8	6.4	7.5	8.3	3.6	5.2	5.0	5.7	6.6	6.1	7.2	7.0	47.7
資格取得に有利であること	5.8	3.9	7.6	5.9	5.6	4.8	5.7	6.7	5.5	6.2	5.4	8.6	7.5	40.3
卒業後に社会で活躍できること	4.4	4.7	4.3	4.2	4.5	4.5	4.8	3.8	4.2	4.8	4.3	3.5	5.3	39.9
校風や雰囲気が良いこと	3.9	3.3	4.5	3.8	4.9	3.6	4.0	3.6	4.1	3.7	3.8	3.6	4.4	49.6
将来の選択肢が増えること	3.8	5.0	2.7	3.5	2.9	3.1	4.2	4.4	3.2	4.6	4.1	4.3	2.5	36.9
社会で役立つ力が身につくこと	3.5	4.2	2.7	3.8	2.5	3.5	3.4	2.9	3.2	3.8	3.5	2.7	2.9	34.8
自宅から通えること	3.2	3.4	2.9	3.2	3.4	3.1	2.6	5.5	3.2	3.1	3.1	4.6	3.1	45.3
専門分野を深く学べること	3.1	2.2	3.8	2.9	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	2.9	1.9	3.6	7.8	23.6
学費が高くないこと	2.9	2.9	2.7	3.7	2.5	2.3	2.2	3.4	3.2	2.3	2.7	3.6	3.9	29.0
偏差値が自分に合っていること	2.8	3.5	1.9	2.4	2.5	3.5	2.8	3.5	3.5	1.8	3.0	2.6	1.9	34.1
教育方針・カリキュラムが魅力的であること	1.7	1.4	2.0	1.5	2.0	2.8	1.8	1.3	2.1	1.3	1.7	1.5	2.0	25.9
伝統や実績があること	1.5	1.9	1.0	1.5	0.9	2.1	1.5	0.9	1.3	1.6	1.5	0.9	1.0	17.0
学習設備や環境が整っていること	1.1	1.1	1.1	0.9	0.9	1.7	1.1	1.6	1.1	1.1	1.1	0.7	0.7	36.0
勉強するのに良い環境であること	1.1	1.3	0.9	1.2	1.6	1.0	0.9	1.8	0.9	1.5	1.2	0.8	0.7	31.5
活気がある感じがすること	0.9	0.9	0.8	0.7	0.4	0.5	1.2	0.7	1.0	0.7	0.8	0.5	1.0	26.1
国際的なセンスが身につくこと	0.9	0.6	1.1	0.9	0.7	0.5	1.0	0.7	0.8	1.0	1.0	0.9	0.5	11.9
教育内容のレベルが高いこと	0.8	0.8	0.7	1.0	2.5	1.3	0.2	0.9	0.7	0.8	0.8	0.1	0.4	16.1
クラブ・サークル活動が盛んであること	0.8	1.3	0.4	0.8	0.4	0.2	1.0	0.9	0.5	1.2	0.9	0.5	0.5	14.9
交通の便が良いこと	0.8	0.7	0.8	0.6	0.7	0.5	0.9	0.9	0.9	0.6	0.7	1.1	0.6	36.0
キャンパスがきれいであること	0.6	0.7	0.5	0.5	0.9	1.2	0.6	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	35.1
入試方法が自分に合っていること	0.5	0.6	0.5	0.4	—	0.5	0.6	0.7	0.7	0.3	0.5	0.7	0.5	18.7
学生の学力が高いこと	0.4	0.8	0.1	0.4	0.2	1.2	0.3	0.6	0.5	0.4	0.5	—	—	7.4
学生の面倒見が良いこと	0.4	0.3	0.6	0.6	0.2	0.2	0.4	0.6	0.4	0.5	0.4	0.4	0.6	17.4
寮や奨学金などが充実していること	0.4	0.5	0.3	0.4	0.2	—	0.4	1.2	0.3	0.5	0.4	0.7	0.5	11.7
周囲の人からの評判が良いこと	0.4	0.3	0.4	0.4	1.1	0.2	0.2	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.2	22.4
教授・講師陣が魅力的であること	0.3	0.3	0.3	0.4	—	0.5	0.1	0.6	0.2	0.4	0.3	—	0.2	13.9
教養が身につくこと	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	12.5
学校が発展していく可能性があること	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	—	—	—	—	0.1	0.1	—	0.1	6.5
先輩・卒業生が魅力的であること	0.1	0.2	0.1	0.1	—	—	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	8.2
無回答	2.2	2.7	1.8	2.3	2.0	1.7	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	1.2	1.9	0.6

※[全体]降順ソート

高校生_Q3SQ1



新学部に対する評価

<児童教育学部>

興味度：児童教育学部 児童教育学科

以降では、進学希望者(7433人) に絞って回答結果をみていく。

- ▶ 「児童教育学部児童教育学科」に対し、進学先として「興味がある」のは進学希望者の5%。
「やや興味がある」を含めた「興味あり・計」は18%。
✓人数に換算すると、「興味あり・計」は1354人。
- ▶ 「興味あり・計」の割合は、男子(12%)よりも女子(25%)のほうが高い。
- ▶ 高校所在エリア別にみると、最も「興味あり・計」が高かったのは横浜地域。唯一2割を超える。
✓湘南、県央、県西地域は同程度。
- ▶ 高校設置者別にみると、公立よりも私立の方が「興味あり・計」が高い。
✓いずれも30%前後。
- ▶ 希望進路別にみると、最も「興味あり・計」の割合が高くなったのは短大希望者（38%）
✓大学希望者の「興味あり・計」では19%。人数に換算すると1195人。

■興味度：児童教育学部 児童教育学科（進学希望者／単一回答）

(%) (人)

卒業後の進路として、東海大学「児童教育学部児童教育学科」にどの程度興味がありますか。
最もあてはまる回答を1つ選び○をつけてください。

		興味あり・計					興味なし・計			実数
		興味がある	やや興味がある	どちらともいえない	あまり興味はない	興味はない	無回答	興味あり・計	興味なし・計	興味あり・計
*凡例										
【高校生】全体 (n=7,433)		4.6	13.6	20.1	19.8	41.2	0.7	18.2	60.9	1,354
性別	男子 (n=3,567)	2.2	29.3	20.2	19.7	47.6	1.0	11.5	67.3	411
	女子 (n=3,712)	6.9	18.0	20.1	20.2	34.5	0.5	24.9	54.6	923
高校所在エリア別	湘南地域 (n=2,667)	4.0	14.9	20.1	19.2	41.2	0.7	18.9	60.3	505
	横浜地域 (n=447)	4.9	17.0	21.5	19.5	36.5	0.7	21.9	55.9	98
	川崎地域 (n=605)	3.1	10.4	19.2	17.7	49.1	0.5	13.6	66.8	82
	県央地域 (n=3,029)	5.4	12.6	19.3	20.1	41.7	0.8	18.0	61.8	546
	県西地域 (n=685)	4.4	13.6	23.8	22.8	34.7	0.7	18.0	57.5	123
高校設置者別	公立 (n=4,338)	3.8	11.8	18.9	19.3	45.5	0.8	15.6	64.8	676
	私立 (n=3,095)	5.7	16.2	21.9	20.5	35.1	0.6	21.9	55.5	678
希望進路別(複数)	大学 (n=6,382)	4.9	13.9	20.6	20.2	39.9	0.7	18.7	60.0	1,195
	短期大学 (n=741)	12.7	25.5	20.2	17.8	23.3	0.4	38.2	41.2	283
	専門学校 (n=2,130)	4.2	13.8	20.5	18.3	42.1	1.0	18.1	60.4	385

高校生_Q4

受験意向：児童教育学部 児童教育学科

▶ 「児童教育学部児童教育学科」を、「ぜひ受験したい～受験先の候補に入る」と回答した「受験候補・計」は進学希望者の23%。「興味あり・計」を上回る。

✓人数に換算すると、「受験候補・計」は1734人。

▶ 「受験候補・計」の割合は、男子(18%)よりも女子(29%)のほうが高い。

▶ 高校所在エリア別にみると、「興味あり・計」同様、最も「受験候補・計」が高かったのは横浜地域。ついで県西地域、湘南地域。

▶ 高校設置者別にみると、公立よりも私立の方が「受験候補・計」が高い。

✓いずれも30%前後。

▶ 希望進路別にみると、最も「受験候補・計」の割合が高かったのは短大希望者(45%)

✓大学希望者では24%。人数に換算すると1553人。

▶ 興味度別にみると、興味あり層では76%が「受験候補・計」となる。

✓人数に換算すると1023人。

■ 受験意向：児童教育学部 児童教育学科（進学希望者／単一回答）

(%)

(人)

あなたは東海大学「児童教育学部児童教育学科」をどの程度受験したいと思いますか。
最もあてはまる回答を1つ選び○をつけてください。

		n	受験候補・計					受験意向あり・計	受験候補・計	実数			
			受験意向あり・計		受験先の候補に入る	受験したいと思わない	無回答			受験意向あり・計	受験候補・計	受験意向あり・計	受験候補・計
			ぜひ受験したい	受験したい									
*凡例													
【高校生】全体		(n=7,433)	1.0	20.4		75.8	0.9	2.9	23.3	214	1,734		
性別	男子	(n=3,567)	0.6	15.7		81.1	1.0	2.1	17.9	76	637		
	女子	(n=3,712)	1.4	25.2		70.5	0.8	3.6	28.7	132	1,066		
高校所在 エリア別	湘南地域	(n=2,667)	1.0	20.6		75.6	1.0	2.9	23.5	77	626		
	横浜地域	(n=447)	0.7	23.5		73.6	0.4	2.5	26.0	11	116		
	川崎地域	(n=605)	0.5	19.0		78.3	0.3	2.3	21.3	14	129		
	県央地域	(n=3,029)	1.3	19.5		76.3	1.0	3.2	22.7	97	688		
	県西地域	(n=685)	0.7	23.4		73.4	1.0	2.2	25.5	15	175		
高校 設置者別	公立	(n=4,338)	0.5	18.8		78.3	0.9	2.1	20.9	91	905		
	私立	(n=3,095)	1.8	22.8		72.3	0.9	4.0	26.8	123	829		
希望進路別	大学	(n=6,382)	1.2	21.2		74.9	0.7	3.1	24.3	199	1,553		
	短期大学	(n=741)	1.8	38.6		54.4	0.5	6.5	45.1	48	334		
	専門学校	(n=2,130)	1.0	20.6		74.9	1.4	3.1	23.7	65	504		
興味度別	興味あり・計	(n=1,354)	5.2	7.8		62.5	0.3	13.1	75.6	177	1,023		
	どちらともいえない	(n=1,496)	0.2	30.3		68.2	0.6	0.8	31.1	12	466		
	興味なし・計	(n=4,529)	0.1	4.8		94.3	0.4	0.4	5.2	20	237		

※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

入学意向：児童教育学部 児童教育学科

以下は進学希望者かつ当該学科を受験候補とする者に絞った回答結果をみる

- ▶ 「児童教育学部児童教育学科」を、「ぜひ入学したい+入学したい」と回答した入学意向者は、当該学科を受験候補とする者の**28%**。
✓人数に換算すると、「入学意向あり・計」は486人。
- ▶ 「入学意向あり・計」の割合は、**男子(21%)よりも女子(32%)のほうが高い**。
- ▶ 高校所在エリア別にみると、**湘南、県央、県西の「入学意向あり・計」はほぼ同程度**。
✓興味度や受験候補・計では高かった横浜地域は川崎について低い。
- ▶ 高校設置者別にみると、「入学意向あり・計」においても **公立より私立の方が高い**。
- ▶ 希望進路別にみると、「入学意向あり・計」が最も高いのは**短大希望者(39%)**。
✓大学希望者では28%。人数に換算すると440人。
- ▶ 受験意向別にみると、**受験意向あり層では83% が「入学意向あり」**。

■ 入学意向：児童教育学部 児童教育学科（進学希望かつ当該学科受験候補者／単一回答）

(%)

(人)

東海大学「児童教育学部児童教育学科」を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。

最もあてはまる回答を1つ選び○をつけてください。

		入学検討・計							実数	
		入学意向あり・計		併願先の 合否によって 入学を検討 したい	入学先として は考えない	無回答	入学 意向あり ・計	入学 検討 ・計	入学 意向あり ・計	入学 検討 ・計
		ぜひ 入学したい	入学したい							
*凡例										
【高校生】全体 (n=1,734)		9.2	18.8	61.1	10.7	0.2	28.0	89.1	486	1,545
性別	男子 (n=637)	6.1	14.4	69.4	9.9	0.2	20.6	90.0	131	573
	女子 (n=1,066)	11.0	21.4	56.3	11.3	0.1	32.4	88.6	345	945
高校所在 エリア別	湘南地域 (n=626)	9.6	20.0	60.1	10.2	0.2	29.6	89.6	185	561
	横浜地域 (n=116)	5.2	16.4	67.2	11.2	—	21.6	88.8	25	103
	川崎地域 (n=129)	6.2	10.9	65.9	17.1	—	17.1	82.9	22	107
	県央地域 (n=688)	10.5	19.3	60.5	9.4	0.3	29.8	90.3	205	621
	県西地域 (n=175)	8.0	20.0	59.4	12.6	—	28.0	87.4	49	153
高校 設置者別	公立 (n=905)	7.3	19.1	62.5	10.7	0.3	26.4	89.0	239	805
	私立 (n=829)	11.3	18.5	59.5	10.7	—	29.8	89.3	247	740
希望進路別	大学 (n=1,553)	9.5	18.9	61.8	9.9	0.1	28.3	90.1	440	1,399
	短期大学 (n=334)	12.3	26.3	51.5	9.9	—	38.6	90.1	129	301
	専門学校 (n=504)	11.3	18.1	57.3	12.9	0.4	29.4	86.7	148	437
受験意向別	受験意向あり・計 (n=214)	43.0	40.2	13.6	3.3	—	83.2	96.7	178	207
	受験先の候補には入る (n=1,520)	4.5	15.8	67.8	11.8	0.2	20.3	88.0	308	1,338

※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い

高校生 Q7

★将来の夢、子供のころからの憧れの仕事

- ・ 小学校の時から小学校教員になることが夢ですが、幼稚園や保育士も中学から気になり始め、全ての資格を取得できる場所を探していましたが、なかなか通える場所で良い所がなかったため、見学に行ってみて雰囲気があればぜひ受験して入学したいと考えています。（湘南地域、女子、入学意向＝◎）
- ・ 将来的に教員（小・中学校）になりたいと考えているので自分が求める学部であると思ったから。また東海大学は名も知れていて、安心感や信頼性が高いように思えるから。（湘南地域、女子、入学意向＝◎）
- ・ 将来の夢が公務員とか保育関係の仕事に就きたいとずっと思っているから。（県央地域、女子、入学意向＝◎）
- ・ 小さい時からの夢を叶えたいからです。色々なことを学んで、将来につなげていきたいです。（県央地域、女子、入学意向＝◎）

★4年間で多数の資格取得可能なことは大きな魅力（他にはあまりない）

- ・ 資格、免許などを一度にたくさんとれるところはなかなかないなと思ったのと、将来のことをすごく考えているなど感じたから。（湘南地域、女子、入学意向＝◎）
- ・ 小学校・幼稚園・保育士の免許を一気にとれるところは少ないと思うから。（湘南地域、女子、入学意向＝◎）
- ・ 小学校、幼稚園・保育園の免許を、とれるのはすごく良いと思いました。自分がもし、幼稚園の先生をやりたいと思っても、途中で自分には保育園の先生の方があってると思ったときとても助かるから。（県西地域、女子、入学意向＝◎）
- ・ 私は元々、教育系の進路に進みたいと思っていて、この3つの免許を同時取得できるところに魅力を感じたからです。（湘南地域、女子、入学意向＝○）

★四年制大学で児童教育を学びたい／授業内容に魅力

- ・ 4年制大学としての児童教育学部に将来入りたいと思っているから。（県央地域、性別回答なし、入学意向＝◎）
- ・ 教育・保育の道に進みたいと思っていて資格をとるためだけの授業内容ではないことが魅力的だと思ったから。（湘南地域、女子、入学意向＝○）

★東海大学を志望していた／周囲の評判が良い

- ・ 私が進路希望を大学進学にした際最初に進学したいと考えたのが東海大学教育学科でした。私は前から教育の現場に興味があり進学するなら家から近く自分が取得したい資格も取得できる東海大学がいいと考えているので上記の理由を選ばせていただきました。（県央地域、男子、入学意向＝◎）
- ・ 知り合いの人で、東海大学に通っている人がいて、その人に「東海大学はとても良いよ。」と教えてもらったから。（湘南地域、男子、入学意向＝◎）
- ・ もともと東海大学に興味があったが教育学がなかったのであきらめようとしていました。ですが今度できるかもしれないと聞きすごくうれしいです！！（県西地域、女子、入学意向＝◎）

★自宅から通える・近い

- ・ 家から通える場所にあり、子どもについても学べて良い環境にあると思ったから。（県西地域、男子、入学意向＝○）
- ・ 自宅から近いし、3種類の資格を同時に取得できる所に、魅力を感じたから。（湘南地域、女子、入学意向＝○）

学部特徴の魅力度：全体傾向

▶ 最も「魅力あり・計」が高いのは、

「d. 児童福祉施設や教育関連企業、公務員への就職を目指すことが出来る」(53%)
 ついで「h. 様々な学部と交流できる総合大学の中で、学ぶことが出来る」(51%)

✓この2つに続き、資格取得に関する3項目が僅差で続く。3つの資格の中で「魅力あり・計」が一番高かったのは小学校教諭免許(一種)。

■ 学部特徴の魅力度<マトリクス> (進学希望者/各単一回答)

(%)

東海大学の「児童教育学部児童教育学科」には下表 a~h の特徴があります。

これらの特徴にどの程度魅力を感じるか、それぞれの特徴ごとに、最もあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。 ※詳細はお手元の別紙カラー資料をご覧ください。

	魅力あり・計		どちらとも いえない	魅力なし・計		無回答	魅力 あり ・計	魅力 なし ・計
	とても 魅力がある	ある程度 魅力がある		あまり 魅力がない	全く 魅力がない			
(n=7,433)								
*凡例								
d 児童福祉施設や教育関連企業、公務員への就職を目指すことが出来る。	21.8	31.3	24.2	7.9	12.5	2.3	53.1	20.4
h 様々な学部と交流できる総合大学の中で、学ぶことが出来る。	19.0	31.7	29.0	7.1	10.4	2.7	50.7	17.6
a 小学校教諭免許(一種)を取得することが出来る。	20.7	28.2	23.3	10.5	15.2	2.1	48.9	25.7
c 保育士資格を取得することが出来る。	21.4	25.2	24.1	10.1	16.9	2.3	46.5	27.1
b 幼稚園教諭免許(一種)を取得することが出来る。	20.0	26.3	24.1	10.5	16.9	2.2	46.4	27.4
e 次世代の教育・保育を担うための3つの力(「基本的社会力」「教育・保育実践力」「地域活性力」)を身に付けることが出来る。	15.9	29.2	30.7	8.7	13.1	2.4	45.1	21.8
f 知識と経験を積み重ね、3つのプログラム(「現場体験プログラム」「特化プログラム」「地域連携プログラム」)の実践。	16.7	27.9	31.6	8.6	13.0	2.4	44.5	21.5
g 着実な学びを支える支援システム(「面談カウンセリング」「e-ポートフォリオ学習確認システム」)等による支援。	12.4	27.7	34.9	9.3	13.4	2.4	40.1	22.7

※「魅力あり・計」降順ソート

高校生_Q5_1

学部特徴の魅力度

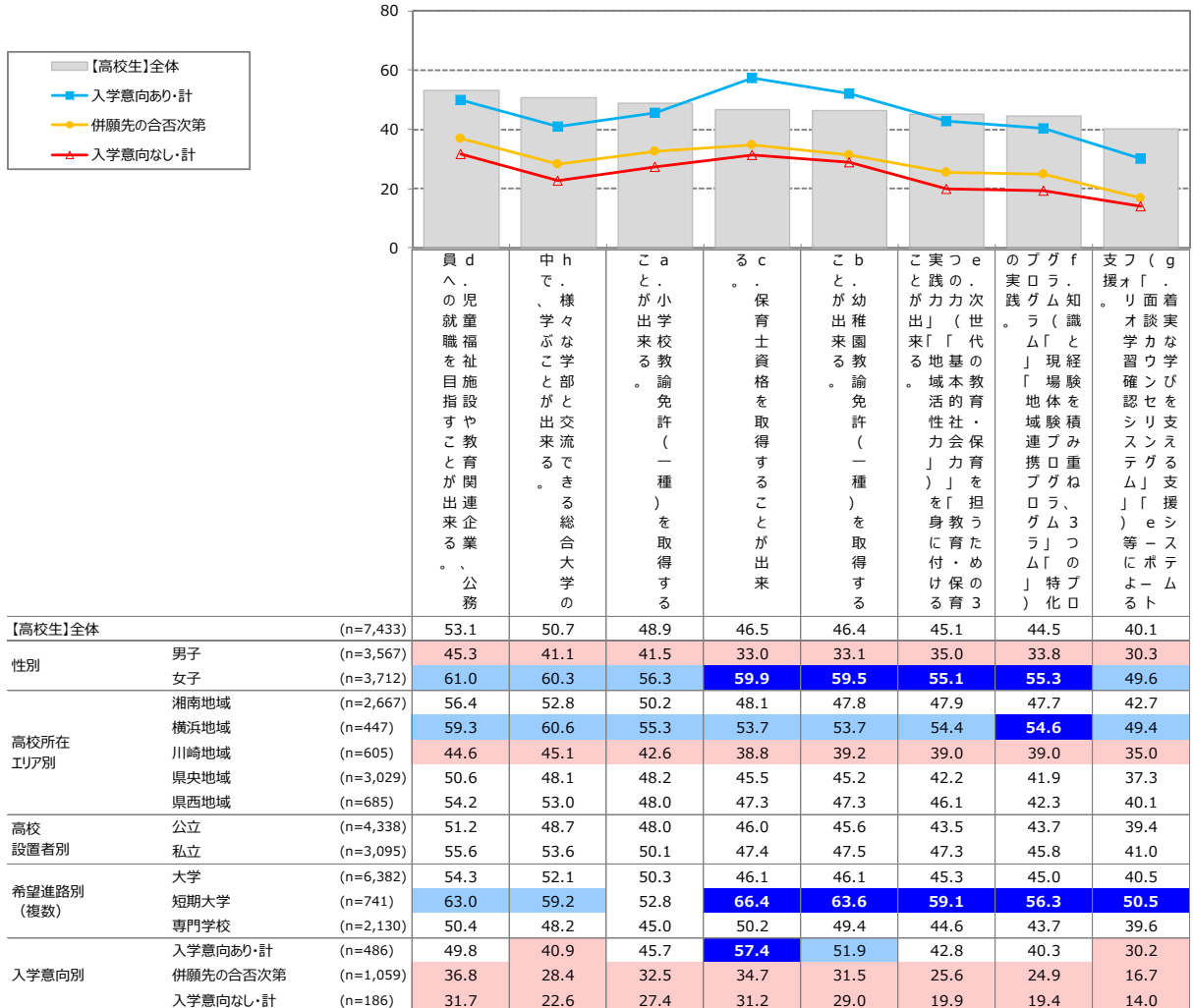
- ✓性別にみると、全ての項目において女子が男子を上回る。
- ✓「c. 保育士資格を取得することが出来る」「b. 幼稚園教諭免許（一種）を取得することが出来る」「e. 次世代の教育・保育を担うための3つの力を身に付けることが出来る」「f. 3つのプログラムの実践」は、上位3項目に比べ、男女差が大きくなる。

✓入学意向別にみると、強い入学意向を示す層（入学意向あり・計）で、最もスコアが高くなるのは「c. 保育士資格を取得することが出来る」。ついで「b. 幼稚園教諭免許（一種）を取得することが出来る」。他2層とのスコア差も大きく、入学意向との結びつきが高い項目と考えられる。

■学部特徴の魅力度：「各魅力あり・計」（進学希望者／単一回答）

(%)

東海大学の「文理融合学部」には下表 a～h の特徴があります。これらの特徴にどの程度魅力を感じるか、それぞれの特徴ごとに、最もあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。※詳細はお手元の別紙カラー資料をご覧ください。



※「全体」より ■=10ポイント以上高い / ■=5ポイント以上高い / ■=5ポイント以上低い
※「全体」降順ソート



調查票・提示資料

大学に関するアンケート

ご協力をお願い

東海大学では、2022年4月に新たに「児童教育学部児童教育学科」の新設を計画しています。このアンケートは、高校2年生の皆さんに卒業後の進路についての考えをお聞きし、現在計画している内容をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。ご回答内容についてはコンピュータで処理され、個人情報を使用されることはありません。本アンケートの趣旨をご理解の上、何卒ご協力をいただけますようお願いいたします。
※このアンケートに記載している新設学部学科の内容は構想中のものであり、今後変更の可能性があります。

2020年8月
東海大学

はじめに、皆さまご自身のことについてお聞きます。

F1. 性別(いずれかに○) 1. 男子 2. 女子 3. その他 4. 無回答

F2. 所属クラス(ひとつに○) 1. 文系 2. 理系 3. どちらでもない

F3. 在籍高校名を記入してください 高等学校

ここからは進学についての考え方をお聞きます。

Q1. あなたは高校を卒業した後、どの進路に進みたいと思っていますか。

1) 以下、あてはまるものすべてに○をつけてください。 ※複数回答可

1. 大学 2. 短期大学 3. 専門学校 4. 就職
5. その他() 6. まだ考えていない

2) 上記1)で複数選んだ場合、最も希望する進路の番号を1つ選び、右下の回答欄に番号を記入してください。

Q2. あなたは、進学先で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。 ※複数回答可

- | | | |
|----------------------------------|--------------|-------------|
| 1. 文化・地理・歴史 | 2. 法律・政治 | 3. 経済・経営・商 |
| 4. 社会 | 5. 情報 | 6. 観光 |
| 7. コミュニケーション・メディア | 8. 国際関係・国際文化 | 9. 外国語 |
| 10. 美術・デザイン・音楽 | 11. 文学 | 12. 人間・心理 |
| 13. 哲学・宗教 | 14. 理学 | 15. 工学 |
| 16. 医学・歯学 | 17. 薬学 | 18. 看護 |
| 19. 医療・保健・衛生 | 20. 福祉 | 21. 体育・スポーツ |
| 22. 家政・生活科学 | 23. 教育・保育 | |
| 24. その他 () | | |

---次のページにお進みください---

Q3. あなたが進学先を選ぶ際に、どのようなことを重視しますか。

1)以下、あてはまる項目すべてに○をつけてください。 ※複数回答可

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 伝統や実績があること | 2. 活気がある感じがすること |
| 3. 校風や雰囲気が良いこと | 4. 学校が発展していく可能性があること |
| 5. 学びたい学部・学科・コースがあること | 6. 教育方針・カリキュラムが魅力的であること |
| 7. 教育内容のレベルが高いこと | 8. 自分の興味や可能性が上げられること |
| 9. 資格取得に有利であること | 10. 就職に有利であること |
| 11. 社会で役立つ力が身につくこと | 12. 国際的なセンスが身につくこと |
| 13. 教授・講師陣が魅力的であること | 14. 先輩・卒業生が魅力的であること |
| 15. 学生の学力が高いこと | 16. 学生の面倒見が良いこと |
| 17. 卒業後に社会で活躍できること | 18. 将来の選択肢が増えること |
| 19. 学習設備や環境が整っていること | 20. キャンパスがきれいであること |
| 21. 寮や奨学金などが充実していること | 22. 学生生活が楽しめること |
| 23. クラブ・サークル活動が盛んであること | 24. 周囲の人からの評判が良いこと |
| 25. 入試方法が自分に合っていること | 26. 偏差値が自分に合っていること |
| 27. 教養が身につくこと | 28. 専門分野を深く学べること |
| 29. 自宅から通えること | 30. 交通の便が良いこと |
| 31. 勉強するのに良い環境であること | 32. 学費が高くないこと |

2)上記1)で選んだ回答のうち最も重視しているものを1つ選び、右下の回答欄に番号を記入してください。

◆最も重視している(番号)

ここからは、「東海大学の学部・学科」のことについてお聞きます。
別途配布したカラー資料に記載の内容および4頁の参考情報をよくお読みいただきお答えください。

Q4. 卒業後の進路として、東海大学「児童教育学部児童教育学科」にどの程度興味がありますか。 最もあてはまる回答を1つ選び○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 興味がある | 2. やや興味がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり興味はない | 5. 興味はない | |

Q5. 東海大学の「児童教育学部児童教育学科」には下表a～hの特徴があります。

これらの特徴にどの程度魅力を感じるか、それぞれの特徴ごとに、最もあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。 ※詳細はお手元の別紙カラー資料をご覧ください。

児童教育学部児童教育学科の特徴		とても魅力がある	ある程度魅力がある	どちらともいえない	あまり魅力がない	全く魅力がない
a	小学校教諭免許(一種)を取得することが出来る。	1	2	3	4	5
b	幼稚園教諭免許(一種)を取得することが出来る。	1	2	3	4	5
c	保育士資格を取得することが出来る。	1	2	3	4	5
d	児童福祉施設や教育関連企業、公務員への就職を目指すことが出来る。	1	2	3	4	5
e	次世代の教育・保育を担うための3つの力(「基本的社会力」「教育・保育実践力」「地域活性力」)を身に付けることが出来る。	1	2	3	4	5
f	知識と経験を積み重ね、3つのプログラム(「現場体験プログラム」「特化プログラム」「地域連携プログラム」)の実践。	1	2	3	4	5
g	着実な学びを支える支援システム(「面談カウンセリング」「e-ポートフォリオ学習確認システム」)等による支援。	1	2	3	4	5
h	様々な学部と交流できる総合大学の中で、学ぶことが出来る。	1	2	3	4	5

Q6. あなたは東海大学「児童教育学部児童教育学科」をどの程度受験したいと思いますか。

最もあてはまる回答を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ぜひ受験したい | 2. 受験したい |
| 3. 受験先の候補にはなる | 4. 受験したいと思わない |

Q7. 1)東海大学「児童教育学部児童教育学科」を受験して合格した場合、あなたはどの程度入学したいと思いますか。最もあてはまる回答を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. ぜひ入学したい | 2. 入学したい |
| 3. 併願先の合否によって入学を検討したい | 4. 入学先としては考えない |

2)上記1)のようにお考えの「理由」を教えてください。

---次のページにお進みください---

Q8. 東海大学全体に対するご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

質問はこれで終了です。ご協力いただきありがとうございました。

【参考情報：東海大学児童教育学部児童教育学科と同系統分野の他大学の既存学科の比較】

東海大学児童教育学部児童教育学科と同系統分野の他大学既存学科との比較												
所在地	区分	大学名	学部名	学科名	入学定員	学生納付金				合計	取得可能資格	同時取得可能
						入学金	授業料	施設設備費等	その他(諸会費等)			
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 アクセス：小田急線「東海大学前」 駅下車徒歩約15分 JR東海道線「平塚」駅よりバス乗 車(約30分)「東海大学正門前」下 車徒歩約5分	私立	東海大学	児童教育学部	児童教育学科	150	300,000円	770,000円	407,000円	59,200円	1,536,200円	幼・小 保	○
東京都町田市	私立	和光大学	現代人間学部	心理教育学科	60	250,000円	850,000円	100,000円	70,000円	1,270,000円	幼・小 保	
東京都町田市	私立	玉川大学	教育学部	教育学科	240	250,000円	1,020,000円	426,700円	54,787円	1,751,487円	幼・小	○
東京都町田市	私立	東京家政学院大学	現代生活学部	児童学科	90	250,000円	770,000円	310,000円	55,660円	1,385,660円	幼・小 保・特	
神奈川県相模原市	私立	相模女子大学	学芸学部	子ども教育学科	100	300,000円	730,000円	360,000円	95,000円	1,485,000円	幼・小 保・特	
神奈川県鎌倉市	私立	鎌倉女子大学	児童学部	児童学科	170	380,000円	640,000円	196,000円	195,000円	1,411,000円	幼・小 保・特	
神奈川県横浜市	私立	関東学院大学	教育学部	こども発達学科	140	290,000円	890,000円	250,000円	156,660円	1,586,660円	幼・小 保・特	

注1) 各大学の情報については、2020年7月時点の公式ウェブサイトにより調査しました。
 注2) 各大学の学生納付金の記載は、各大学の公表方法に基づいています。その他(諸会費等)に実習費などを含まない場合や2020年度・2021年度の学生納付金の情報が混在している可能性があるため、あくまでも概算として参考にしてください。
 注3) 東海大学の学生納付金は予定であり、変更となる場合があります。また上記以外に実習費などがかかる場合があります。
 注4) 取得可能資格の欄の意味 幼…幼稚園教諭 小…小学校教諭 保…保育士 特…特別支援学校教諭
 注5) 同時取得可能な欄は、取得可能資格を同時に取得できることが公式ウェブサイトにおいて明確に示されている場合のみ○を付しています。(東海大学は別途配布したカラー資料に同時取得可能を明記)

2022年4月開設予定(設置構想中)



東海大学

児童教育学部

児童教育学科

湘南キャンパス(神奈川県平塚市)

※このリーフレットに記載された内容はすべて構想中のものであり、今後変更となる可能性があります。

4年間で、
3つの免許・資格を
同時に取得可能。

東海大学短期大学の児童教育学科が、
2022年4月に大学の新設学部として進化します。

時代の変化に合わせて目指すのは、
幼児教育を理解した小学校教員の養成と、
小学校教育を理解した保育者の養成。

特定の年齢の教育・保育だけではなく、
子どもを連続的に捉える力と、
多様な子どもへの対応力を身につけることで、
この先の子どもの未来も、
日本の未来も見据えた新時代の教員・保育者を育てていきます。



0～12歳まで、長い目で子どもの成長と学びを考えられる
教員・保育者を目指します。

小学校教諭免許(一種)

保育士資格

幼稚園教諭免許(一種)

幼稚園と保育園の一体化、さらに小学校との連携、教員免許・保育士資格の法令の改正など、現在の教育・保育の現場では、より質の高い専門性を持つ教員・保育者が必要とされています。東海大学では短期大学部で培ってきたノウハウを生かした、新たなプログラムを導入。次世代に求められる資質・能力を持つ教員・保育者の養成を目指します。

次世代の教育・保育を担うための3つの力

「文理融合の知識で、論理的に思考する力」(基本的社会力)

「文理融合」は、AIの進化や環境破壊など、「予測不可能な社会」を生き抜くために重要な考え方だと東海大学は考えています。次世代を担う子どもの教育・保育に携わることを目指す学生にこそ、これまで以上に文理融合の視点を持った高度な資質と能力が必要になってくるのです。

- 文理横断的な科目
- 論理的思考力を高めるための能動的学習に基軸を置く「入門ゼミナール」
- 地域社会や国際社会に関わるための「地域・国際理解」等の科目

「子どもを総合的・連続的に捉える力」(教育・保育実践力)

東海大学では時代の先駆けとして、学校の種類ごとに分断するのではなく、子どもの発達という観点から「教育の本質を見通し、子どもを総合的・連続的に捉える力の育成」を重視していきます。さらに多様な子どもへの対応力を強化することで、発達に課題がある子どもの支援や子育て支援、異文化共生についても学んでいきます。

「地域とつながり、ともにやり遂げる力」(地域活性力)

「子どもは地域の中で育まれる」をムーブメントへ。地域の人々対話し、つながり、巻き込み、相互の関係を構築した中で、子どもを育てるためには、このムーブメントを起こす力を持った教員・保育者が求められます。東海大学児童教育学部(仮称)では、このような地域に根差した相互関係を構築した中で、教育・保育を行う力を持つ人材を育成します。

※学内に、子育て支援施設「あかちゃんひろば」、放課後児童支援施設「こどもひろば」を常設予定です。

知識と経験を積み重ね、3つの力を高めるプログラム



着実な学びを支える支援システム

「面談カウンセリング」

定期的な面談カウンセリングを通して、学生個々の特性に応じた支援を行います。

「e-ポートフォリオ学習成果確認システム／観点別成績評価システム」

身につけられた資質・能力をリアルタイムに「見える化」します。

短期大学部時の専門職就職100%

50年以上の歴史を持つ
短期大学部の実績を生かした、
万全の就職サポート&教育体制

【目指す進路や就職先】 幼稚園、保育園、こども園、小学校、児童福祉施設、教育関連企業、公務員

【学生一人ひとりに目が届く、教育体制】 入学定員(150名)予定 × 専任教員(20名)予定

